

第 59 回宇宙科学技術連合講演会オーガナイズドセッション企画書

(1) セッション名

準天頂衛星システム

(2) オーガナイザ

日本電気㈱ 準天頂衛星利用推進室 村井 善幸

(3) セッションの目的と概要

準天頂衛星初号機「みちびき」は、2010年9月11日に打上げられ、翌年の2011年6月22日には測位信号の精度が仕様を満足したことから、測位信号の一般への提供が開始されている。各種研究機関や大学等の関係機関、さらには民間団体では、この「みちびき」を使って各種の技術実証や利用実証が行われてきており、これらの結果は、衛星測位技術の向上に資する結果が多く含まれている。

2018年からは、4機体制による運用（実用準天頂システム）が開始されることが決定されているおり、現在その整備が進められている。

本年の宇宙科学技術連合講演会では、関係する研究者・技術者、及び関連の基礎研究等を行っている諸機関を含めて、実証実験で得られている成果等に関して幅広く情報交換を行うこと、及び、実用準天頂衛星システムの整備状況等や各種実証試験に関して幅広く情報交換を行うことを目的として当オーガナイズドセッションを企画する。

(4) 本 OS を今年開催する特有の意義

上記(3)のとおり、2010年に打上げられた「みちびき」から得られた成果が発表可能な状況であること、さらにこれらの成果は衛星測位技術の向上に有用な情報であることから、今年オーガナイズドセッションを開催する意義を十分に有している。

(5) 発表件数、セッション数 (5/15時点の予定)

件数：28件

セッション数：7件

(6) 5. 個別発表題目(仮タイトル)と発表予定者(所属)

(カッコ内は発表者所属)

第1セッション

- 1) 準天頂衛星初号機「みちびき」の最新運用状況、○岸本統久 (JAXA)
- 2) 複数 GNSS 対応単独搬送波測位 (PPP) 技術の研究開発状況、○三吉基之 (JAXA)
- 3) MADOCAによる高精度測位技術を用いた移動体実験、○吉川和弘 (JAXA)
- 4) MADOCAにおける PPP-AR 機能の拡張と評価、○高須知二 (LHTC/海洋大)

第2セッション

- 5) 準天頂衛星初号機「みちびき」多地点・多利用形態技術実証実験の評価結果、○橋部雄志 (JAXA)
- 6) PPP 初期収束時間短縮のための補強情報の検討、○谷山暁 (東京エレクトロニクスシステムズ株式会社)
- 7) PPP と車載センサとの統合によるシームレス測位、○鈴木太郎 (早稲田大学)
- 8) TBD、○坂井丈泰(ENRI)

第3セッション

- 9) 準天頂衛星初号機「みちびき」の軌道時刻推定精度評価、○梶原延浩 (富士通株式会社)
- 10) 準天頂衛星初号機 (みちびき) 蓄積角運動量の最適化、○工藤雅人、浅原資雄 (三菱電機)、明神絵里花、岸本統久 (JAXA)
- 11) TBD
- 12) TBD

第4セッション

- 1) 準天頂衛星システム 総合システム開発状況、○未定 (日本電気株式会社)
- 2) 準天頂衛星システム 地上系システムの開発状況、○未定 (日本電気株式会社)
- 3) 準天頂衛星システム 衛星測位サービスの開発状況、○未定 (日本電気株式会社)
- 4) 準天頂衛星システム サブメータ級測位補強サービスの開発状況、○未定 (日本電気株式会社)

第5セッション

- 5) 準天頂衛星システム センチメータ級測位補強サービス・システム設計、○滝口純一 (三菱電機株式会社)
- 6) 準天頂衛星システム センチメータ級測位補強サービス・インテグリティ検証、○宮雅一 (三菱電機株式会社)

7) 準天頂衛星システム センチメートル級測位補強サービス・補強対象衛星、○佐藤友紀（三菱電機株式会社）

8) TBD

第6セッション

9) 準天頂衛星システム 災害・危機管理通報サービスの開発状況、○未定（日本電気株式会社）

10) 準天頂衛星システム 衛星安否確認サービスの開発状況、○未定（日本電気株式会社）

11) 準天頂衛星システム 利用拡大全般状況、○未定（日本電気株式会社）

12) 準天頂衛星システムが測位精度に与える効果（都市部編）、○未定（日本電気株式会社）

第7セッション

13) 準天頂衛星システムの実証実験例、○未定（日本電気株式会社）

14) TBD

15) TBD

16) TBD

(7). その他

一般公演の追加を受け入れる。

以上